



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年7月31日

上場会社名 株式会社 赤阪鐵工所 上場取引所 東
 コード番号 6022 URL https://www.akasaka-diesel.jp
 代表者 (役職名)取締役会長兼社長 (氏名) 杉本 昭
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役執行役員総務本部長 (氏名) 塚本 義之 (TEL)054(685)6081
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,198	△13.5	△81	—	△57	—	△39	—
2019年3月期第1四半期	2,540	△11.5	143	△4.5	178	6.4	102	△15.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△26 51	— —
2019年3月期第1四半期	66 84	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	12,403	8,129	65.5
2019年3月期	12,663	8,230	65.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 8,129 百万円 2019年3月期 8,230 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	— —	— —	— —	30 00	30 00
2020年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
2020年3月期(予想)	— —	— —	— —	— —	— —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2020年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	3.1	0	—	60	757.1	60	—	39 59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	1,540,000株	2019年3月期	1,540,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	35,268株	2019年3月期	35,207株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	1,504,773株	2019年3月期1Q	1,528,511株

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
3. その他	6
(1) 生産、受注及び販売の状況	6
(2) 役員の異動	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、製造業を中心として景況判断に慎重な見方をする企業が増加してきております。また、米中貿易摩擦の激化、英国のEU離脱問題、中東情勢の緊迫化など海外経済の不安の高まりから、景気動向は不透明な状況で推移しました。

海運業界は、6月に中東オマーン湾でタンカーが攻撃を受けるという大きな事件があったものの、基本的な需給バランスは改善されておらず、船腹過剰による市況の低迷が継続している状況にあります。

造船業界は、新造船の発注量は依然増えておらず、新造船市況は厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社といたしましては、前第1四半期会計期間に比べ主機関の売上高は、比較的小型の主機関の台数が増えたことにより売上台数は増加したものの、前期よりもさらに受注価格が厳しくなっていることなどから、当第1四半期会計期間は、売上高2,198百万円（前年同期比13.5%減）、経常損失57百万円（前年経常利益178百万円）、四半期純損失39百万円（前年四半期純利益102百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は12,403百万円となり、前事業年度末に比べ259百万円減少いたしました。主な要因は、第2四半期以降に出荷する製品等の棚卸資産の増加（185百万円）に対して、上期納期の製品に係る購入品等の支払いによる現金及び預金の減少（515百万円）等によるものです。

当第1四半期末の負債は4,274百万円となり、前事業年度末に比べ158百万円減少いたしました。主な要因は、製品の売上による前受金の減少（102百万円）、夏季賞与の支払いによる賞与引当金の減少（66百万円）等によるものです。

当第1四半期末の純資産は8,129百万円となり、前事業年度末に比べ101百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純損失の計上等により利益剰余金の減少（86百万円）等によるものです。

この結果、当第1四半期末における自己資本比率は65.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月14日に発表いたしました数値から変更はありません。配当予想につきましても、今しばらく業績動向を確認いたしたく未定で変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,723,580	2,208,286
受取手形及び売掛金	2,880,434	2,927,220
仕掛品	2,497,951	2,656,442
原材料及び貯蔵品	416,598	443,141
その他	45,458	86,756
貸倒引当金	△6,419	△8,773
流動資産合計	8,557,603	8,313,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,414,883	1,389,573
その他(純額)	1,284,039	1,323,738
有形固定資産合計	2,698,923	2,713,311
無形固定資産		
103,393	103,393	100,860
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,325,218	1,298,077
貸倒引当金	△21,404	△21,404
投資その他の資産合計	1,303,813	1,276,673
固定資産合計	4,106,129	4,090,845
資産合計	12,663,733	12,403,920

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,424,675	2,512,019
短期借入金	258,589	268,129
未払法人税等	12,211	4,020
引当金	248,003	178,481
その他	1,031,897	976,369
流動負債合計	3,975,376	3,939,020
固定負債		
社債	100,000	-
長期借入金	192,375	177,356
引当金	33,730	36,116
その他	131,363	122,130
固定負債合計	457,469	335,602
負債合計	4,432,846	4,274,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金	926,345	926,345
利益剰余金	5,686,786	5,600,704
自己株式	△76,187	△76,303
株主資本合計	8,046,945	7,960,747
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	196,886	170,350
繰延ヘッジ損益	△12,944	△1,799
評価・換算差額等合計	183,941	168,550
純資産合計	8,230,886	8,129,297
負債純資産合計	12,663,733	12,403,920

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,540,916	2,198,450
売上原価	2,023,641	1,865,581
売上総利益	517,274	332,868
販売費及び一般管理費	374,264	414,400
営業利益又は営業損失(△)	143,010	△81,531
営業外収益		
受取利息	43	68
受取配当金	14,709	13,888
スクラップ売却益	8,187	6,210
受取技術料	8,992	-
その他	5,227	5,805
営業外収益合計	37,161	25,973
営業外費用		
支払利息	1,275	1,523
その他	200	199
営業外費用合計	1,475	1,723
経常利益又は経常損失(△)	178,696	△57,282
特別損失		
投資有価証券評価損	38,407	-
特別損失合計	38,407	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	140,289	△57,282
法人税等	38,116	△17,385
四半期純利益又は四半期純損失(△)	102,173	△39,897

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用しております。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社の事業は船用内燃機関及び部分品の設計・製造・修理・販売及びその関連事業を主体とした単一セグメントであります。

①生産実績

当第1四半期会計期間の生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	2,198,450	△20.8

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第1四半期会計期間の受注実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	1,872,093	6.7	4,491,142	13.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期会計期間の販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	2,198,450	△13.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 役員の変動

代表取締役の変動(2019年7月29日付)

- ・代表取締役会長兼社長 杉本 昭 (前 代表取締役会長)
- ・取締役 赤阪 治恒 (前 代表取締役社長)

※ 上記の変動については、2019年7月9日付の「代表取締役の変動に関するお知らせ」で開示済であります。